

地域の拠点としてセーフティステーションの役割を果たす 埼玉県防犯のまちづくりに関する協定締結

2021/5/13

セブン&アイ HLDGS.

CSRアクション

令和3年5月10日（月）埼玉県知事公館大会議室にて「埼玉県防犯のまちづくりに関する協定締結式」が開催されました。本協定は、子供や女性、高齢者等を犯罪被害から守るとともに、多発している街頭犯罪や侵入盗などの犯罪を防止するため、埼玉県と民間企業等が連携して防犯のまちづくりを効果的に推進し、安全で安心な県民生活の実現を図ることを目的としています。具体的な推進事業としては、子ども・高齢者等で保護を要する人を発見した場合や、不審者情報などを速やかに警察又は関係機関に通報すること、また広報、啓発活動に協力することなどがあります。

イトーヨーカドーでは、店舗での通常営業時だけでなく、ネットスーパーやきいらい楽だ配達時や移動スーパーとくし丸を通じて見守り活動を推進してまいります。また、店舗インフラを活用した啓発に関するイベント等にも積極的に協力し、安全・安心なまちづくりに協力してまいります。



販売事業部
東武埼京ゾーン
ゾーンマネジャー
尾鷲 一郎

地域のセーフステーションとして、また地域防犯の目として、 日常の業務を通じて防犯活動に協力してまいります。



大野知事（左側） 原警察本部長（右側）

防犯まちづくりステッカー

事務所用



車両用



関連情報：埼玉県ホームページ「埼玉県防犯まちづくりに関する協定」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0311/news/page/news2021043001.html>